關西大學新報

発行所
大阪市大淀区長柄中通
関西大学天六学舎内
関西大学新報社
電話 堀川㊱2072番
発行人
江村淳三
(定価一部十円)

植野教授らの講演会
九日経、商学会共催で

経済学会、商学会の共催で六月十九日講演会が開催される。午後一時から経済学部杉原四郎教授が千里山第三学舎で「イギリス留学の思出」と題した講演を、午後六時四十分から商学部植野郁太教授が本学四十二教室で「欧米の留学から帰って」と題する講演を行う。

全夜連ついに解散
組織統一で平和擁護を
第六回全国大会で決議

全国の夜間学生の組織として六年間活発に活動を続けてきた全国夜間学生自治会総連合は六月八日第六回定期全国大会で解散することが決議され、新たに全学連の組織として夜間学生協議会が設けられることが決められた。

全国夜間学生自治会総連合第六回定期全国大会は、東京衆議院第三議員会館会議室で、六月八日午前十時半から、全国二十大学三十二自治会、代議員九十三、委任二の出席で開かれた。この大会の問題点は①岸政府の外交、わが国の核武装化、憲法改悪反対、②文教政策中とくに勤務評定、③第四回原水爆禁止世界大会と軍縮、④学生戦線の統一などで、中でももっとも大きな問題は本大会は全夜連の解散大会とすることを前提として開かれたものだが満場一致で解散を決議、過去六年間にわたって活動を続け夜間学生の組織として社会的評価をたかめた全夜連はここでピリオドをうち、今後は全学連未加盟校も漸時各単位自治会毎に全学連に加盟してゆき、学生組織の統一した行動をもって、平和な民主的生活を擁護して行く方針で進むことを決議し、第六回大会を終ると共に、全夜連は解散した。

この解散は昨年六月の第五回全国大会で、学生組織を統一しようとの意図のもとに全学連への統一の方針が打ち出され、本年五月末日までに各単位自治会は全学連に参加していき、第六回全国大会を夜学連の解散日とするむねの決議によるものである。本大会における第五大会以後の経過報告は、関東夜学連は都学連と砂川で共同闘争を行い、四月二十五月以後全学連への加盟は急速に進展、七、八中委から組織統一に取組んで、七日早大第一政経も加盟、ほとんどが全学連に加盟した。

一方関西夜学連では組織統一に関する各単位別の活動はスケールが小さく、立命大が早くから積極的であったほか、大商大、大経大、神外大、商短大、大阪市大が加盟したが、関大、ほか同大、近大ではまだ具体的な動きが出ていない。このあと九州、関西、関東の各ブロックに夜間学生協議会をおき、関西では書記局を設けて全学連未加盟校に積極的に働きかける第六回大会は全学連への組織統一以前より多く発展することなどが決議された。

全教学教と組織統一
全学連 第十一回全国大会

第十一回全日本学生自治会総連合定期全国大会は、さる五月二十八日から四日間東京杉並公会堂で開催されたが、学生組織の全学連への統一は、新たに全国教育学生連盟協議会との統一が行われ、一方夜間学部を含む、新加盟自治会として明治、中央、法政、法政短、東洋、東理科、都立、明治学院、東経済、中央学院の全学部、早稲田(文)日本(経)の各大学の招介があり確認された。このあと経過報告、活動方針の審議に続いて役員改選がなされ、中央委員八十四名、中央執行委員三十名が選ばれ、中央執行委員長に香山健一君(東大)が三選、副委員長に小島弘(明大)、佐野茂樹(京大)の両君、書記長に小野寺正臣君(東大)が決った。

前途多難な活動
執行部座談会
全学連加盟などを目標に

昭和三十三年度執行部を発足してから約一カ月、学内外ともに種々の問題が山積しているおり、一般学生の執行部によせる期待も大きいものと思われる。さきに委員諸君に集っていただき各部の方針ならびに抱負を語ってもらった。

司会　ここに集まっていただいた方々は、今年一年間学友会の活動を背負っていかれるのですが今日は今年の活動方針や抱負を腹蔵なく語っていただきたいと存じます。中井さんどうですか。

中井　昨年度から引き続き平和を守る運動、原水爆禁止、全学連加盟、学友会規約の改正、学園の民主化などを目標としていきたいと思っています。

園田　対外的な活動方針としては、全夜連が解散して全学連に組織を統一するという時にあたって、関西における関大の占める位置を十分考える必要があると思います。

森田　園田君がいったように活動そのものをもっと正しい方向へ発展させ、学生の中に入っていくべきだと思うのです。

司会　中村さんは始めて活動に参加されるのですか。

中村　まだよくわからないのですが、執行部に入って感じたことは、内部に何かすっきりしない空気があるように思います。

司会　昨日学長と会談された時学生運動が問題になりましたが

中井　政治活動に結びついた学生運動を学長は禁止するといっていますが、例えば、文部省が意図している夜間大学の五年制について反対する運動が、はたして政治的活動かということなのです。

広岡　学生運動は、学生自身で積極的に討議され行動に移されるべきもので、それが結果的に政治的色彩を含んでいるか否かは別として、総て出発点が問題になるのではないでしょうか。

佐々木　学生運動の規定を、どこに置くかということは明解に出来ませんね。話は少しそれますが、過去に学生が戦争にかりたてられていったという経験、われわれは二度とこのようなことを繰り返えさないように、戦争に対抗していかねばならないということが学生運動の使命でしょう。

中井　その点について、学長は政治的運動よりも、学ぶことが第一であるということをいっていますが、私たちは大変不満に思います。

司会　話が少しそれましたが昨年低調といわれた自治委員会のあり方について、どう考えておられますか。

中井　第一回自治委員会で連続二回欠席した場合は除名することを決議しました。この対策については、自治委員内で大いに反省し考慮すべきです。

広岡　これは、自治委員の選出に問題があると思います。選挙の時でも当落が決ったら唯、ゴッツァンデーといって終るこれは余りにも無責任だと思います。終局的には、現行規約に欠陥があり、今年の一番大きな問題として規約改正があげられるでしょう。

学生寮 一・二部の差別をのぞく

司会　具体的な活動のうち、一般学生に身近かな問題についてどう考えておられますか。

中井　まず寮の問題です。一部と二部の二寮の入寮数の比率、夏期講座など、四者懇談会で、いろいろ要請するつもりです。

園田　学生寮の問題ですが、四月はじめ学生が登校する前に掲示があり、二部学生が登校した時はもうなかったのです。だから二部学生は入寮手続きも出来ず、実質的に閉め出されているのが現状です。現在二百余名の入寮者中、二部の学生はわずか二、三人しかいないということを考えるべきです。一、二部ともに同じ条件におかれるのが当然ではないでしょうか。

司会　四者懇談会にはどのような問題を提起されていますか。

中井　具体的なことは明日の執行委員会で一応の線が出るのですが、学内を明るくし、設備の改善など、昨年の四者懇談会で確約しながら、うやむやのうちに終ったことを実現するよう働きたいと思います。

広岡　過去の四者懇談会はただ、エライサンとの顔合せの観がありましたが、今年はもっと重点的に話し合うつもりです。

司会　経済学部問題について今後執行部の態度はどうですか。

中井　私はこの問題は未だ結論が出ていないと思っているのですが、学校側としては總て解決したという態度です。

園田　単に問題を解決するということでなく、テーマとしては残っています。

中井　いろいろ申し上げたのですが、ともかく、平和擁護、全学連加盟、規約改正問題など問題が山積している現在前途多難ですが、全学生諸君の期待にそえるよう努力するつもりです。

司会　本日はどうも有難うございました。

出席者

中井	昭夫	(執行委員長商四)
園田	実	(副 〃 法四)
佐々木	弘	(〃 経二)
広岡	八郎	(書記長 文三)
長島	邦光	(経理部長 経四)
吉岡	欣三	(総務部長 経一)
森田	桂司	(渉外部長 法三)
中村	勝彦	(調査部長 経一)
今城	義春	(厚生部長 法二)
浅田	義信	(無任所 文二)
司会		新報社

論説

学生大会と自治委員の関係

一般学生と学友会執行部との間に常にギャップがないとはい切れない。それを是正するのが、現機構によると学生大会である。では自治委員の役割は……

学友会の最高決議機関である学生大会を目前にして、毎年低調をまぬがれないこの大会の正しいあり方について改めて考えてみたい。本来全学生の意見を代表すべき権格をもつ学生大会が、過去においてどのような状態であったかをふり返ってみると、共通していえることは、出席者が非常に少数であり、委任状によってやっと規約を定める三百名の定数に達していたことである。出席者の多くは直接学友会予算の配分をうけるクラブ関係者であり、従って予算案会計監督者を中心としてクラブの利権争奪が行われ、予算の前提であり、一年間の学友会の方向を決定する活動方針の内容に関しては、ほとんど十分な討議がなされないまま終っている。このような状態の中では、小数の何の利害にもとらわれずに学友会活動の正しい方向について真面目に考えて出席した学生が失望を感じて、学生大会に出席するのは時間の無駄だと考えるのも、一方的と頭からきめつけることはできない。また少数の活動家が大会の参加をその都度一般学生に呼びかけながら、成果をあげえないのは、学生大会でどのような問題が討議されるかが十分理解されていないことも出席者が少ない大きな原因の一つであろう。ここで自治委員の役目が問題となる。

クラスの学生の意見をまとめ、これを自治委員会に持出し、自治委員会の決定をクラスに報告、討議して執行機関と一般学生の媒体となるべき自治委員会は、其大半が利権代表で占められ、クラスの学生の意見がほとんど反映されず、クラス討議も少数を除いては行われていない現状で、昨年度の自治委員会が、七月以後流会を重ねた事実からも、それは明らかである。学生大会を正常な方向にもどし、全学生の意見を反映させるにはどうしたらよいかといった問題が当然考えられるべきである。

まず現在の学友会規約によると学生大会は委任状を含めた三百名の出席により成立するのであるが、この点に第一の欠点があろう。即ち委任状さえ集めれば、百名に達しない少数でも成立し、その場で決定された事項は、全学生の意見を代表した最高の権限を有するものとみなされるのであって、ここに少数の横暴を許し全学生の意向が必ずしも生かされていないという原因がある。全学生の意見を代表する機関であれば少くとも半数二千五百名以上の学生が出席した中で討議され決定されるべきであるが、現在の自治委員とクラスの学生との関係や会場からみて、これは夢物語にすぎない。

これに代る方法として、代議員制度が考えられる。単なる個人の集まりであれば、その時その時の出席者によって、全く相反する決定がなされる危険があり、過去においても一度全学連加盟を決定しながら次の大会で脱退を決議するという全く外部のものからみれば理解に苦しむような事態を生んでいるのである。学生大会を代議員制として各出席者である代議員が、クラスで討議決定した結果を大会に発表することによって、単に個人の集りではなく、全学生の意見が間接的に表明されることになる。形式的には現在の自治委員会を拡大した形になるわけであるが、ここでは基本的な方針の決定がなされ、個々の具体的な活動については執行委員会の責任において行っていく点は現在よりも執行委員会の権限が強くなることになる。

代議員制度と平行して、この制度をより生かすために、重要問題に関しては全学投票の制度が設けられるべきで、当然その決定は代議会に優先するものとされるべきであろう。しかし現行規約が有効である現在においては学生大会が最高決議機関であるから、一人でも多くの学生の参加が当然要望されるのであることはいうまでもない。

そこでこの際学生大会で討議される活動方針を、学生生活との関連について、単なる抽象論に終ることなく、個々の具体的な問題について十分な討議をして、多くの学友の理解を深め、現在のともすれば一般学生から遊離しがちな学友会活動を、クラスの学生の中へ持込んで話し合って欲しい。しかしこの大会を正常な軌道に乗せるのもやはり我々学生の一人一人であるということを反省する必要を忘れてはならない。

我々の周囲に存在する多くの問題、例へば文部省がうち出している夜間学部を五年制にしようとする政策、授業料問題諸単位変更講座開講などあらゆる問題はわれわれ個々の力では全く解決できず、学友会組織によって始めて要求を満たすことが可能なのである。そして学友会の最高決議機関がこの学生大会であり、われわれが直接その意見を発表し反映させることができる唯一の場でもある。前記の規約の欠陥を改正するのも現在のところ学生大会のほかにはないのである。

学生大会の決定がわれわれ二部学生全体の正しい意志の反映であらしめるためには、やはり一人でも多くクラスの意見を活動に反映させるという、自治委員本来の任務に目ざめてほしいのである。あなた任せでは何事も解決しないという分りきったことをこの際強調したい。

執行部

全学連加盟など
本年度活動方針決る

本年度第一回の執行委員会が六月五日に開かれたが、本年度の活動方針として平和擁護の問題、全学連加盟、学内の民主化(学長選挙に重点をおく)、経済的諸要求(学生寮の問題に重点をおく)、夏期学講座の実現、学友会規約改正などをあげ審議した。

全夜連、全学連の報告など
第二回自治委十一日に

第二回自治委員会は六月十一日午後七時四十分から定刻から一時間遅れて開かれた。

まず常任議長として佐々木弘君(経二)、井戸端光蔵君(法四)が選出された。ついで全学連中央委員会、夜学連解散大会出席者からの報告、執行委員長から本年度活動方針の骨子説明、評議員会で結論の出なかった野外コンパ、その他の予算審議が行われたが活動方針の討議、予算の最終決定は十六日にもちこされた。

昭和三十三年度予算審議
一般行事費で難行
五回にわたる評議員会

第一回予算審会議は、五月三十一日午後七時から、千里山教育会館で開始された。審議は、各クラブの代表者から予算書の説明を聞き昨年度の監査報告と照し合わせて検討し、金額を仮決定するという方法で行われ、まず、一般行事費の審議で、監査規定による没取金の使途と、執行部予算は自治委員会の承認を得るべきであるという異議が一部評議員から出され、審議中止の提案がされるなど審議が難行したが、採決の結果続行することに決り、学研の審議に移った。続いて、文化部、弁論部、女子同好会と審議を終り、一日、体育十部の審議を残して、一応二十三時に評議員会は解散した。第三回評議員会は六月二日残りのクラブの審議を終り、六日各クラブの仮決定に対する不当意義の受けつけ、九日それらのクラブの再審議をした。結果の仮決定を自治委員会にはかることになり五回にわたって開かれた予算審議の評議委員会は終了した。

学生は勉学を第一に
学長、執行部会談

六月二日七時から学生部長室で執行部の申し入れによる岡野学長との会談が一時間にわたって行われた。同会談の主目的は本紙九十六号に掲載された学長就任の辞ならびに入学式の訓辞における「学内における学生の政治的活動は好ましくない」に対する釈明を求めるところにあり、中井執行委員長ら各委員の質問に対して学長は次のように回答した。

—就任の時にいわれた学内での政治的活動を否定されている点、現実に勤労学生の立場としては社会の人にうったえなければならないがこれは政治活動に入るのか。

学長　政治活動の限界は難かしいが、学生として勉学している間は勉学にはげむことが望ましい。

—平和を維持するということは勉学するための前提だと思うが平和運動などは政治的活動に入るのか

学長　それは政治活動とはいわない。しかし勤務評定の一連の闘争には政治的策略がみられる。

—先生のいわれる政治的活動の範囲は。

学長　平和運動などは是非やっていかねばならないが一党一派にかたよった団体行動はいけない

そのほか五年次制の問題など数点について話し合いがなされ八時に会談は終了した。

勤評反対の共闘会議
府学連など十七団体で結成

「勤務評定反対・教育を守る大阪府民共闘会議」が六月十八日で結成される。大阪府学連、関西教授懇談会準備会、大教組、大阪総評、社会党、共産党、府青年団体協議会、民主法律家協会、部落解放同盟大阪府連など十七団体で作られ結成式は六月十八日大阪上本町の婦人会館で行われる。同会議は府下の各地で同様の組織を結成するように運動するとともに、大阪府教育委員会、府下各地の地方教育委員会に勤務評定反対、民主的教育を守ることなどを働きかける。

なお府学連ではこのため当日午後二時から天王寺公園で勤務評定反対の集会とデモ行進を行う予定でコースは天王寺公園から市電上町線にそって上六を経て、大手前公園までである。

全国で平和行進を
来月二十日に原水協で

日本原水協では八月に"第四回原水爆禁止世界大会"を東京で開くが、これに先だって六月廿日から七月末まで「核武装阻止と民主主義擁護国民運動月間"と決め、全国的な「平和行七月二十日に行う

空手部四位に
関西選手権府立体育館で

全関西空手道選手権大会は、去る六月十日大阪府立体育館で二十校の参加をえて開催された。本学空手道部は、唯一の定時制出場校として参加し、関西の各強豪を相手に堂々四位の栄冠を勝ちとった。

第一回戦は近畿大に不戦勝、第二回戦は大経大を3対2(2引分)で破ったが準決勝戦は優勝した立命大と5対0で敗れた。三位決定戦では、高段者を有する同志社大と対戦し、稲諸副将(二級)が勝ち大将戦でも谷浦初段が奮戦したが、三対二で惜しくも破れ、同部は立命大、関大一部、同志社大に次ぐ四位となった。

なお二十日東京で開かれる東西対抗試合に関西代表として本学から谷浦、稲諸両選手、コーチとして星野二段が出場する。

牧、岩田君ら帰学
アジア大会優勝歓迎会

第三回アジア・オリンピックで金メダルを獲得したボクシングの牧昭男、柔道の岩田兵衛両選手の歓迎会が六月四日午後七時半から天六学舎広場で行われた。

午後七時大阪駅についた両選手はオープンカーで本学学生、応援団のブラスバンドに先導され、学生、職員、地元民ら多数出迎える天六学舎に入り学友会の歓迎をうけた。花束を受け表彰台に立った両選手は本学矢野幹事、学部代表のあいさつをうけたあと、応援歌、バンザイ三唱をうけ、最後に代表して牧選手のあいさつがあって歓迎会は終った。

牧選手の話　第一戦は固くなっていたが、第二戦は私自身として最高のできだった、優勝できて嬉しい。

記者の眼

◎……例年のごとく五月三十一日の夕刻から夜を徹しておこなわれた予算会議、開始早々、一般行事費と執行委員会の予算で難関に到った。日久、或るパートの代表が「自治委員会で承認を得ていない執行委員会の予算は審議する必要はない」といえば執行部はその必要はないと突っ張り、ついには、執行部不信任案が飛び出し、業を煮やした執行委員長が予算会議中断説をもち出す仕末、結局は審議続行ということに落ちついたが、個別審議という至極便利な方法も意外な伏勢にあったというもの。

◎……そのおかげで、三十一日の夜審議されるはずだった学研の各クラブの諸君は待たされること約十二時間、評議委員の前に現われた時は半ばグロッキーになっていた。それでも容赦なく吐かれる質問と、居ならぶ委員を見て緊張した面持に、呼び出して審議するのは一寸好い気持だね、と評議員連 はいい気なもの。

"面目ない"と男泣き

◎……このほど東京で開かれた全夜連大会、いよいよ解散して全学に連組織統一するという歴史的大会であったが現在全学連に加盟していない自治会は東西あわせて七自治会、組織統一の意気盛んななかでずいぶん肩身のせまい思いを味った。本学も関西での未加盟自治会の一つであるが、本学から出席していた執行委員のS君、関西で真先に加盟すべき本学であるのに、まことに申し訳ない。これには色々内部的事情もあることで……とあとは涙、他の執行委員諸君も男泣きするという劇的シーンがあつた。これを聞いて"リハーサルなしの本番やったのか?"

◎……和歌山でストさわぎを起している勤務評定、世上に賛否両論をまきおこしている折も折本学でも一寸したさわめきが起った。"憲法"の講義の時間にN教授が"当然教師にも勤務評定が必要ですよ、給料にかかわるのならまた別ですが、勤務評定はよいと思いますがね。"大勢の学生ワーッとわいたがただそれだけで何事もなかったように講義が続けられた。それを聞いた執行部の連々、けしからんおとなしく聞いている学生も学生だ、と大怒り、岡野学長の発言に刺激されている執行部としては無理もない。

★　☆　☆　★

学生大会二十日に

本年度第一回学生大会は六月二十日に行うことになった。さる十二日に第二回自治委員会で執行部から提案がなされ、承認されたものである。

クラブ便り

近文研　「七日会」を七日、十七、二十七日開く。テキストは中村光夫「小説入門」▽十八日榊原先生を招いて座談会を開く。テキストは野間宏「真実の探求」▽十九日卒論座談会。吉永、島田、榊原先生出席▽二十三、二十四両日国文研共催で学内文芸講演会を開く。講師、立命大和田、本学風巻両教授▽三十日定例研究会林芙美子「晩菊」

吟詠部　二十四日に旭、西九条支部の昇段試験見学▽二十八日文化部主催の菜文化祭に出演

朝文研　本年度は朝鮮の歴史および日本の仏教伝来の経路などの研究会を毎週一回地下部室で行う。なお夏期遠征(山陰地方における実地調査)を予定。

国文研　六月十七日輪読会、六月二十九日定例研究会。

国公吏採試の告示

人事院では昭和三十三年度国家公務員採用上級試験を行うに当り、次のとおり告示した。

受験日　七月二十一日(月)専門試験(第一部)七月二十二日(火)教養試験、七月二十三日(水)専門試験(第二部)何れも択一式

受験地　札幌、仙台、秋田、東京、長野、名古屋、金沢、大阪、京都、広島、松江、高松、福岡、熊本。

合格者発表　昭和三十四年四月以降。

受験手続　申込用紙は人事院各地方事務所で交付する。郵送の場合は封筒の裏に「公務員上級試験申込用紙請求」と朱書し、返信用封筒を必ず同封すること。

受付期間　五月二十三日(金)から六月十三日(金)まで、郵送の場合は六月十三日(金)までの消印を有効とする。

警察官採試の告示

人事院では昭和三十三年度警察官採用上級試験を行うに当り次のとおり告示した。

受験日　第一次=八月十六日(土)十七日(日)、第二次=十月中旬。

受験地　第一次=大阪、第二次=東京都。

合格者発表　第一次=十月一日(木)、第二次十月下旬。

受験手続　申込用紙は大阪管区警察局、大阪府警本部、人事院大阪地方事務局で交付、郵送を乞う場合は返信用封筒と郵料を同封すること。

なお受付期間は六月二十日(金)から七月十日(木)まで、郵送は七月十日までの消印を有効とする。

学長杯は延原君に
学内新人弁論大会で

弁論部主催本年度学長杯争奪新人弁論大会は六月九日三十六教室で行われた。前年度優勝三浦君から優勝杯の返還のあと、若さに溢れた新人達の舌戦から法一延原源錫君が「悲願実現のため」と題して論じ優勝した。優勝、延原源錫「悲願実現のため」、二位、名越雅(法二)「いためつけられた二宮金次郎」、三位、川口元治(商三)「差別は生きている」

相撲部優勝
西日本学生選手権

西日本学生相撲選手権大会はさる六月一日、藤井寺相撲場で行われたが、団体戦で本学は四勝一敗で、決勝戦では関学をやぶり優勝した。また個人戦でも寿君(=二部)が三位に入賞した

関大		関学
×井上	(つりだし)	横山○
○山村	(はたきこみ)	林×
○岡崎	(下手なげ)	川端×
○鍵田	(上手なげ)	中原×
○寿	(よりきり)	方田×

学内告知板

学生課

前期授業料金納者で先に延納願いを提出し許可されたもののうち特別の事情があり期日までに納められないものは、六月十五日から二十一日の間に再延納願いを受けつける。

教職「夏季講座」

毎年行われている教職課程単位修得夏季講座を七月一日から八月八日まで六週にわたって天六学舎で行われるが教科と日程は次の通り発表された。

一週—四週一時限五〇〇—七一五教育心理学(37)教科教育法(38)△二時限七・一五—九〇〇教育原理(37)哲学概論(38)

一、二週一時限日本国憲法(32)

五、六週一時限人文地理学概説(37)△二時限日本史概説(37)

一週を月曜—金曜まで但し第一週に限り火曜—土曜( )内数は教室とする。

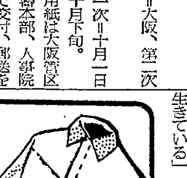
なお試験は次の日程で行われる。

日本国憲法

七月十一日 日本国憲法六—七時(42)(43)▽六月二十五日教育心理学(37)(42)教科教育法(31)(21)六時—七時、教育原理(37)(42)哲学概論(31)(21)八時—九時▽八月八日人文地理学概説(31)(32)六時—七時日本史概説(31)(32)八時—九時( )内数字は教室

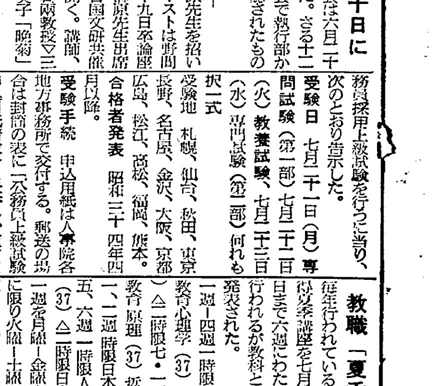
争声春秋

「三悪追放」は岸内閣のお題目であるが"にくまれっ子世にはびこる"のたとえの通り、追放どころか、増大するのが現状だ。先ごろ行われた衆議員の選挙にしても、あれほど公明選挙を唱えた結果が、連日の選挙違反の新聞記事である▼実施されてから約一カ月余になる売春禁止法もザル法案といわれるように、業者が網の目をくぐって暗躍し、"赤線は消えず"という映画が出来る仕末。しかしこれらの社会悪は"浜の真砂"で、完全に消すことができないというのが、社会通念とされている。とはいえより善い方向へ改めるのが人類の務めであろう▼近頃よくマスコミの弊害ということが口にされる。テレビは子供に享楽と社会悪を教え、活字は流行を予言し、大衆を催眠術でおとし入れる。このような無形の暴力は人々が意識するしないにかかわらず、この世の中に充満しており社会倫理や法の制約があいまいであるだけに、それを判断する良識というものが切実にのぞまれる。▼民主主義は数多くの自由と多数で決定する方法を教えてはくれたが、その使い道は教えてくれなかった。戦後にみられたつけ焼刃は是正されてきたとはいえ、有識者のいう"国民性"だけでは現状の説明にはならない。▼先日、本学の自治委員会の席上意見が入れられなかった不満で一部の委員が席を立って会議続行を不能に陥し入れるという手段に出たこれはまさに民主主義のルールの欠陥をついた卑きような手段であり、暴力的ですらあるが、逆に考えれば多数の意見に少数が承伏するというルールそのものにも大きな矛盾があり、暴力性を否定出来ないのである。▼"浜の真砂はつきるとも世に泥棒の種はつきまじ"という退廃的通念があてはまる現代だが、反省と判断の能力と機会を与えられた学生だけでも知性と良識の中で、ものごとにのぞむべきであろう。



洋品・スポーツ
シャツの店
弓津美
北区天神橋5の24 TEL.(35)6269

日本生命
本社
大阪市東区今橋4丁目



日本経済新聞社編
私の履歴書
待望の「第四集」発売中!!
岩田宙造・荻原井泉水
河合良成・佐藤春夫
杉山金太郎・永田雅一
野村胡堂・橋本宇太郎
藤原銀次郎・藤山愛一郎
☆好評の一～三集に続き第四集を刊行した、政界、財界、文化界と、現代を代表する諸名氏の波乱に富んだ生活の歴史——光輝ある今日を築くまでのありのままの人生記録☆
定価二八〇円・送料30円
第一集～第三集
各冊重版・好評発売中
各冊B6判・定価280円・〒30円
日本経済新聞社
東京中央区日本橋茅場町・振替東京555

日本で唯一の
夕刊英字新聞
ASAHI
EVENING NEWS
¥[illegible] Per Month
朝日新聞社

世界の新聞
毎日新聞
毎日新聞が日本全人口の3分の1もの人々に愛読されていますのは記事がどこよりも正確で詳しく迅速だからです
The Mainichi
Daily English Language Newspaper With
Largest Nationwide Circulation
The wise people choose
the GOOD NEWSPAPER
¥250 a month,delivered to your home
大阪市北区 堂島 毎日新聞大阪本社

古典も結構です
しかし、「日経」をお忘れになってはいけません。
それは、あた、かい、血のかよった、経済学の教科書ですから。
ご購読お申込は
日本経済新聞社 大阪支社販売部
大阪市東区今橋1丁目15 電話 北浜㉓321～5番

時評

総選挙は終つたが

文学部教授　金戸嘉七

フランスでは軍隊の反乱やらデモ騒ぎやらで、満州事変の前夜を思わせるような状勢の中に、ドゴール出現という政変が行われたが、それに比べれば日本の政界などは静かなもので、三百代言的な誹謗やら買収やらの上手な方が多数を制して、あとの騒ぎも内部のクサツタもの同士の派閥争いだけで、外部には別に損害も与えずに、新内閣成立というところへ漕ぎつけた。

初の国会というのに、逃げ隠れていて姿もみせなかった男もいるというのだから、公明選挙も泣き出そうというものである。

こんどの選挙でマス・コミは威力をみせた。私も長いあいだ新聞社の飯を食ってきた人間で、そのへんのこともよくわかっているのだがいまさらのようにマス・コミの強い力がわかった。といって、それは新聞社がそうしようとしてかかったものではない。あるいはそのつもりの社もあったかもしれないが、それはごく少数である。ほとんどの新聞は看板通りの中立を堅持した。その証拠に彼らが選挙前に予測したように、社会党は伸びたし、自民党の伸び足はとまった。あとになって社会党伸びずとか、その理由はかくかくだと紙面の批判は盛んだが、百九十万票の増加と八名の当選者増は、いまの段階の社会党としては順当な伸び方だ。思わぬ人が次点で落ちたというけれども、公明な選挙が行われていたなら違った結果が出て、社会党はもう三十余も増えていたはずだ。嘘だと思うならその後の違反検挙の状況をみたらわかる。ここでは自民党が絶対多数どころか一党独裁である。

だがいいたいのはこのことではない。新聞紙は意識しないで一方へ土持ちした結果になった。そのもっとも大きいものは「二大政党対立」と、こんどの選挙を規定したことであった。これは選挙の本質を隠すには便利な言葉であった。おそらく保守派の知恵者が考え出したものにちがいないが、これで一般の国民はすっかり目をくらまされた形だ。なるほど一見したところは二大政党のようである。おまけに新聞の伝えたように、内政問題で掲げる政策はほとんど区別のつかぬようなものである。外政は対立はしているが、一般にはそれほど皮膚に感じとられるようなものでない。だからこの選挙は低調であると、選挙への意欲を高揚するつもりで書いた記事が、実は有権者の無関心乃至は保守派への同調を強いたことになった。二大政党対立などというのは保守政治家の隠れミノで、それは憲法改正の是非、さらにそこから日本の再軍備へ通ずる、今次総選挙の本質をすりかえてしまった。これを説破できなかった社会党の弱味も指摘されねばならぬ。彼ら自身も大政党ともち上げられたところに、自己満足の気もちが起つていたのではなかつたか。それにしてもマス・コミがこの観念を植えつけた力はおそろしいものがある。

二大政党の対立となれば、現に政権をもつているものが有利である。彼らは相手の政策は観念的で現実性がないとやっつけることもできる。自分の圧力団体の方は棚に上げて、相手をとモつきときめつけることもできる。自分の背後にいる大旦那の指図通りに、相手の外交方針に水をさすこともできる。後は権力と金力で（それが現実的な政権の座にいるものの方の御利益なのだが）、いちばん彼らのためにひどい目にあつているはずの貧乏人の票を吸収することができる。いつの選挙もまずはそうしたものなのだが、それがこんどの公明で、棄権の減少した選挙の実体である。だから選挙さえすめば、まだロクに新内閣のお膳立てもできぬ中に、大衆酒の値上げだけは実現して、大衆はシミジミと保守政党のありがたさを味わせてもらえるというわけである。

こうなると、できない相談のついでに、法律を改正して被疑者を出した当選者は、黒白を決するまでは登院停止させることにしたらどんなものだろう。いちばん早手廻しの選挙粛正になるだろう。それに、岸総理の一枚看板の三悪追放実現の近道でもあるし、第一民衆のためになる法案を通過させる妙案でもある。もちろんこれで保守系が一名もいなくなつたりしては、これまた一党専制を招くという批難が起らないとも限らぬが、その便法はまた講じてもよいではないか。

広義の政治活動は認める

政権争奪への参加は行過ぎ

学長　岡野留次郎

さる四月十日、本年度入学式で岡野学長は新入生に対する挨拶として、また学長就任後初の公式発言の中で「学内での政治的実践は好ましくない。学内における自治活動を政治的運動に変化せしめることは遺憾に思う」と訓示し、学生の自治活動に暗に制限を加える圧力として学生側から反響を呼んだ。学生の平和への関心、民主教育への関心などが高まっている折から、核兵器実験禁止、沖縄の軍事基地化反対、勤務評定反対などの諸問題は、経済学部事件とともにこの学長訓示と大きな関連をもち、執行部は六月三日の学長との会談でこの関係についての見解の説明を求めたが、現在に生きる学生として、学生の自治活動と政治活動との関係は熟考すべき問題でもあり、本社では学長の意味する学生運動の本質とその限界について、さらに明確にしてもらった。

学生運動の本質とその限界

六月三日一部学生諸君の学友会の代表者から聞いた話では、先に私が新入生諸君に与えた学長としての訓辞の中で、学生運動に言及した部分について、学生諸君の方で納得できない点があるとのことで、いろいろの質問に接した。そこでこの際それを補い、私の趣旨を明らかにして置きたいと思うので、新報主筆の希望にまかせて、筆を執ることにした。

元来自治活動とはいうまでもなく、人間が自ら自己を律し自己を治めることを意味し、それには人間が自己の自由なる意志によって自己を律し得る能力があることを前提とする。そこで人間が自由であることはどういうことか、自己を治め自己を律することはどういうことかとか、むつかしい哲学的な疑問があるわけであるが、そういうことを今論じようとするのではない。ただ良識をもっていえることは、人間の具体的な自由というものは、いつも何等かの制約制限を伴ったものであり、いわゆる無条件的な絶対的な我侭という意味では、具体的現実的には自由というものはあり得ないということである。

人間は個人であると同時に何等かの社会に属する社会人である。従って単に自己の好みに従ってまた単に自己の利害のみを考えて勝手気侭に振まうことは許されない。そこに道徳とか法律とかいういろいろの行為の規範が生ずるものであることは論ずるまでもない。そこで学生諸君は一個の独立した人格として、個人に許された基本的人権を持ち、日本国民として日本国憲法に規定された権利を持つと同時に、社会的には諸種の団体に所属して、それぞれその団体内で許された権利を持つ、即ち諸君は人間として日本国民としての権利を持つとともに本学園の学生として許された学生としての権限を持ち得ることはいうまでもない。しかし権利は同時に半面において義務を伴うものであって、これが人間の社会的生活において必然的に課せられた運命である。

自治活動とは正に人間が一定の社会において一定の許された権利を行使するとともに、それに必然的に伴う義務を、自らの能力と自らの自由の決意によって遂行することに外ならない。従って何等か他からの強制により、あるいは圧迫によって義務を遂行することも自治の精神にもとるが、また自由なる決意によるにしても、ただ自己の権利のみを主張して義務の遂行を忘れるのも真の自治活動とはいえないと思う。そこで学生運動が真に自治活動たるためには、先ず本学の学生諸君が個人として右に述べた自治活動をなす能力を充分に備えるとともに、学生全体の運動を可能にする自治組織が完備していなければならない。自治能力という点からいえば、個人的にはいろいろの段階があり、極端にいえば、どんな人間でも完全には自治能力を備えてはいないといい得ると同時に、何人でも健全な人間である限り、ある程度の自治能力を備えているともいえるであろう。従っていやしくも大学生である以上、相当高度の自治能力があると見るのが妥当であろうが、他方学生である身分上、その生活において、あるいはその研究において、なお未だ社会人として完成していないと見なすべきであるとする社会通念からすれば、すでに大学を卒業し、一人前として社会に活動しているものに比べて、一般的にいえば、自治の能力においてなお劣る点があると見られるのみでなく、大学生として学校において果すべき義務の上から見て、その自治活動においても、一般社会人と同様の活動をするということは、場合によっては行き過ぎと見られると思われる。そこに私は学生運動の限界があると思う。

学生自治活動の本質は、学生として、即ち学問の研究、体格の育成、人格の向上、その他学園における学生生活を楽しくし、意義あらしめるために、必要な諸種の団体的な運動をなすことを本質とすべきで、例えば、学園の向上発展のために、他学研究機関の整備について学生の総意を学校当局に訴えるとか、学生生活を快適にするために諸種の企画をするとか、諸種の研究集会を催し、雑誌を発行するとか、あるいは学生にふさわしい社会奉仕の運動を展開するとか、その他自己の見聞を広めるために、諸種の旅行を計画するとか等々、現に本学友会のいろいろの部がそれぞれ実行しつつあることは、それが本学の学則や学生規定に背反しない限り、すべて健全な学生の自治活動というべきであろう。

私が先に学生運動が政治的意図をもってなされる場合、学生運動の本質を逸脱するといったことについて疑義を持つ人があったようであるが、元来、われわれは一定の国家に属し、一定の政府の統治下にある以上われわれの一挙手一投足が国家の政治と何等かのつながりを持たない訳にはゆかない。われわれの一言一行は、日本国家の法律によってしばられているのである。従って、われわれの言行は極めて広い意味では政治的でない訳にはゆかない。しかし普通政治運動ということは、政治権力争奪の運動と直接つながるものと解釈する。

人類を悲劇的運命から防衛するため原水爆実験の中止を願い、人類の平和と幸福を祈願して学生が運動を起すということは、そのこと自体直ちに政治運動とは思わない。しかしもしこの運動を通じて暗に共産革命を意図し、現政府を打倒してその権力を奪うがための手段として学生が団体として、あるいは個人として、学外の政治結社と直結してこの運動を起すというのであれば、これは明らかに権力争奪の政治運動と見なければならない。

総評が傘下の労組を動員して現政権を打倒し、社会主義政権を樹立しようとして、いろいろの運動を起すとすれば、それは明らかに政権争奪の政治運動であろう。私は学生運動としては、かような政治運動に直接参加することはいささか行き過ぎであると思うものである。学生諸君が学生運動も学生としての権利義務の遂行に必要な限度に止めるべきであると思う。勿論将来の政治運動をなすための準備をなすことは決してとがむべきではない。特に理論的な研究、思想的な訓練を積むべきはむしろ大いに奨励さるべきであろう。要するに学生時代においては、将来の社会的活動のための基礎的訓練修養を積むべきであって、未だ思想的にも、人格的にも修養の時期にある学生が、直ちに外部の政治団体とつながって権力闘争の渦中に投ずることは、時期尚早であるのみでなく、学生たる本分にももとるというのが私の考えである。もっとも一部の学生諸君の中には、すでに社会人として充分成熟した政治的信念を持っている人も相当いることと思う。こういう人達が学外にあって、社会人として一定の政治的活動をすることは、わが国の法律の許す範囲においては、必ずしもさしつかえのないことではあろうが、本学学生である身分上個人的にも余り行き過ぎないことが望ましい。いわんやただ一部の人々の政治的信念によってなされる運動を、本学生の総意として全学園の学生運動の名のもとに遂行される場合には大いに問題があると思うのである。もちろん、私は本学においてすでにこの種の学生運動が過去において、また現在において、あったとか、あるとかいうのではない。ただ今日諸処で時々行われる学生運動の中には、多少この種政治運動の色彩が濃厚なものがあるように思われるので、新入学生諸君に注意を促した次第であり、それは同時に先輩学生諸君に対する私の注意でもある。

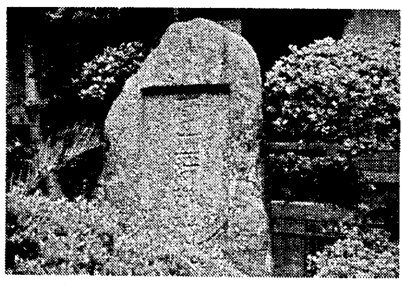
元来教育の場における教授と学生との関係は今日の新制度の大学理念からいえば、学生は単に教授から学問研究の方法について、また学問の内容の獲得について指導を受けるというに止まるものではない。同時にその人格の向上育成の上でも、学生は教授の適切な指導に従うべき義務を持つのである。それゆえにこそ学生は教授の学問上、人格上の指導的適格性について、いろいろの批判を加えたり、不満を訴えたりする権利を主張し得るのであろう。して見れば学生においても、自己の権利を主張するのもいいが、同時に自己の学生たる本分を自覚し、義務の遂行を念とし、学問の研究において、また人格の向上発展において先輩たる教授の言に耳をかし、その指導に従うべきである。もっともこのためには、われわれ自ら本学の教授として、諸君を指導し得る能力と資格において欠くるところがないかを終始反省し、かつ努力してゆかねばならぬことはいうまでもない。われわれも決して完全な指導者であるとうぬぼれているわけではない。少くとも私はこの指導の最高責任者たる資格が充分だなどと夢にも思ったことはない。ただ私のいいたいことは、今日の一般社会においても、民主々義が叫ばれ、自由と解放が高唱され、平等の権利の獲得が盛んに各方面に要求されているにかかわらず、かような民主主義の裏づけをなす義務の遂行がとかく忘れられ勝ちであることは、はなはだ憂うべき世相であると思うもので、学校における教育においてさえこの世相の欠陥が浸潤しつつあると思われる。

真に世に民主主義を確立するためには、少くとも教育界において、その精神を確立しなければならない。われわれ教授団も学生諸君も、各自自己の権利を主張するより前にまずもって自己の義務の遂行に専念すべきではないかと思う。少くともその方向に向ってわれわれすべてが努力すべきである。要は教授も学生も、互いに信頼によってつながれ、いたずらに他を批判し、攻撃するより前に自ら自己の義務の遂行に心がけ、自粛自戒する態度を堅持するとき、はじめて教育の内実は効果的になると信ずるものである。

飛鳥路を訪ねて

国文研、近文研共催本学文学会、学研本部後援の大阪、大和遺跡巡回資料探訪【文学バス】が六月一日指導の飯田正一、吉永登両教授に参加者五十人を乗せて出発した。この「文学バス」は約五ケ月にわたり国文研、近文研で準備されたもので記者は日曜日の一日を同バスにのって同行してみた。

バスに乗った一行は大阪駅で半時間、飯田教授の大阪の説明が行われ近松の作で有名な「曽根崎心中」の書かれた地、お初天神の境内と梅新から御堂筋を南下、平野町岩水堂を眺め、東西本願寺を経て南久太郎町に入る。ここには「旅に病んで夢は枯野をかけめぐる」の松尾芭蕉の逝った旧跡が緑地帯にフラワーベースと並んで、対称的に古き時代を物語り朝つゆにぬれて我々のバスを見送ってくれた。豊臣秀吉の築城と開港との分岐点として発展した長町（現日本橋三丁目付近）をあとに新世界、ここは昔墓地でまた北の曽根崎南の千日前、法善寺横町など今の中心街はすべて墓、刑場であったが今はそのおもかげもなく盛んな大阪の商魂を示している新世界を通りすぎたバスは平野街道から金剛、葛城の山脈を前に玉手路道を大和路へ。途中柏原で飯田教授が、橿原で吉永教授が畝傍川総合調査のため下車。「世の中は何か常なる飛鳥川きのうの淵ぞきようは瀬となる」と歌われているように昔多かった水量も今では大雨のない限り水無瀬川となっている。飛鳥川を渡り近鉄宇治山田線を横断。右に畝傍山、前に耳成山後方に香具山をながめながら奈良方面へ約五分新口村に梅川忠兵衛の墓がある。大銀杏の下、苔稲等の銘字が刻まれているがこれは五〇年前に畑の中にあったのを同寺の境内に移転、これが今では庭の一部分となっている。

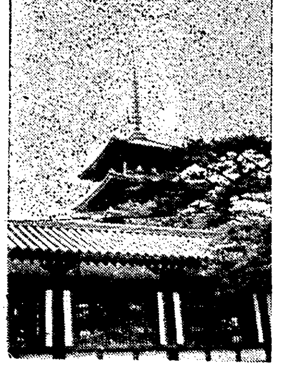


大阪淡路町の飛脚宿の忠兵衛は新町の遊女梅川となじむようになる。飛脚問屋とは金に一夜の宿を貸す商売であり、依託の金に万一の事があった場合は、間違のあった店は閉所となるのを主人の屋敷方のため現金の封印を切ってこの大罪を犯してしまう。夢に描いた楽しみも一瞬にして消え失せて二人はさまよい歩いたあげく忠兵衛の故郷新口村へ忍び帰る。実父に会って後御町街道を落ちのびようとしての途中代官の手に捕えられる。

「三輪山をしかも隠すか雲だにも心あらなん隠さふべしや」の万葉の歌で有名な常緑の三輪山の麓に三輪の町が静かに横たわる。前述の三輪の茶屋はここ三輪大神神社の一の鳥居の西にある大和路を逃げていた梅川忠兵衛がここに一時身をひそめていたと云う。この茶屋には馬洗の水とよばれるものがあり。この上が茶屋になっていて二階にのぼると忠兵衛の由緒書がある。

また忠兵衛の用いたという茶やそうめんを食べたという大きなハチも見られる。めずらしいのは窓ガラスに赤、青、緑、朱の四色のガラスがありこれを透して外の景色を眺めると、それぞれ春、夏、秋、冬の景色に見えると云う。記者も試みた所まったく全部同様な感じを受けた。この土地を現在馬場先と称しているのも馬洗の水から？

長い通路を往て天理教の参考館に入る。ここには中国、朝鮮、アジア、西洋諸国におよぶ民族的資料を多数収集している。またハワイ諸島や南米ペルーの、高地や海岸地帯の各地に発達した代表的な文化遺物数千点が「おやさとやかた」の四、五階に陳列されている。主に土器が多く染織品、鋭利な矢などが陳列されている。ほかに我国に三、四つしか存在しないといわれるツアンツアが目を引く。これはインデアンが戦争において敵のクビを切ってそのクビの骨などを抜いて干して作ったもので頭が普通の五分の一に収縮されたようなもの、骨は抜けているが毛はもとのようにあり、目にくらべてマツ毛、マユ毛、歯が一際長く鋭く見えるのもこのため。動物、果物などを模した彫刻的なものに非常に拙いものと驚くほど鋭いリアルな描写の作品があり、単純で強く、図案も大へん魅力がある。その文様化は古代中国朝鮮、西洋の遺物と日本の縄文、弥生の土器時代よりも技術的に進んでいたと思われる。



夕闇せまる大和の空に五重の塔が美しい。だれかが法隆寺は秋の夕ぐれが一等素晴しいと云っていたのを思い出す。法隆寺は彫刻絵画すべて国宝文化財で芸術品としてこれが一三〇〇年の年月を経て保存されている。この法隆寺が日本だけでなく広く世界の宝庫としての位置を有していると云えるが、その中にある十六間壁画は非常に重要なものであり、有名な数人の人によって模写され宝物殿に収められている。現在の十円切手がこの壁画である。子規が明治二十八年故郷松山から東京へ行く途中大和に立ちよった時の作で「寒山落水」と句集にある有名な句は、寺の前の茶屋にいこいながらよんだものである。「柿喰へば鐘がなるなり法隆寺。」（T記）

【写真説明】上、車中の文学バス一行　中、梅川忠兵衛の墓といわれ善福寺にある石位。下、世界屈指の建築を誇る法隆寺五重の塔。

映画

政治不信の叫び

『スパイ』　佛フイルムソノール作品　東和映画提供

木立の多いパリの郊外、半分つぶれかかつたような私立精神病院、そこの唯一人の医師であり院長でもあるマリク（ジエラル・シティ）は、ある夜ハワード大佐（ボール・カーペンター）と名のる男から「私はUSA戦争心理協会のものだが一人の重要人物をかくまってくれたならば百万フラン進呈しよう」と頼まれた。このみすぼらしい病院はみかけ通りひどい経営不振おまけに患者は中毒症のヴァレット（ルイ・セニエ）と失語症の女リュシイ（ヴエラ・クルウゾオ）の二人だけで閉鎖寸前と云う状態、マリクは病院をたてなおす資金ほしさに承知する。それを知つた各国のスパイ達が病院に集まって来たその夜ふけ黒い大きな眼鏡をかけたアレクス（クルト・ユルゲンス）と名のる男がいつの間にか部屋に来ていた。スパイ達は一室にとじこもつたアレクスの正体を知りたいとあせる。ふとしたことからマリクは、アレクスが東独から大佐の手びきで逃亡したフオーゲル博士らしいと見当をつけるが、スパイ達からアレクスの写真をとつてくれと強要され、気をきかしたつもりで中毒患者ヴアレツトの写真をとり、これがアレツクスだと云つて渡す。スパイ達は人違いだと知って引き上げる。大佐の苦心もこれで失敗。というのはアレクスは博士ではなく、世界の平和のため博士を両陣営の手に渡さず無事に逃す間、スパイ達を引きつけておくためのオトリなのである。大佐はスパイ達の追求を恐れて服毒、マリクは大佐の最後の頼みで博士をマルセイユまで汽車で護送する。だが早くもスパイ達が乗込んできた時、博士はいつのまにか姿を消していた。これは安い費用で大量に原爆を製造する方法を発明した博士が、自分の発明がどちらの陣営の手に落ちても人類の破滅を招くことを感じていたので、自分を追う両陣営の追求から逃れようとしたのである。マリクはこの事を警察へ訴へようと決心するが、証人は誰れ一人いない。その時失語症のリュシイがしやべり出す。（この趣向はいささか甘い）大いに張り切つたマリクそのとたん不気味に電話のベルが鳴る。この部屋にはマイクがしかけてあってスパイに聞かれていることを思い出してマリクはおびえた表情で立ちすくむ。電話は鳴りつづける。エンド・マークが消えて幕が下りる。然し電話は客席にむかって規則正しく鳴りつづける。

眼鏡のアレクスのユルゲンス

これは、チエコの作家エゴン・オストフスキイの「深夜の患者」の映画化したもので現代の異常な世界を舞台に、原爆の秘密をめぐって展開するスパイ戦を「悪魔のような女」のクルウゾオが例によって不気味なショットと独特の演出で描いている。

これを誰と誰はどこのスパイでなどと云う推理的な興味で見れば結果は全くワケが判らなくなってしまうが逆にその不可解さこそ現代の国際政治の一断面を見せたものとするならば、これくらい恐ろしく、また人を信ずることができなくなる話も少い。戦後十何年間、日本にもこれと似た事件が無かったとは云いきれない所にこの映画のミソがある。云うならばこれはフイクションに託して現代を呪う個人主義者クルウゾオの悲鳴に似た政治不信の叫びであると云えよう。（S）

音楽

よくモダン・ジャズは解らないという音楽を耳にする。またモダンであろうとディキシーであろうとジャズはジャズで騒（ジヤシー）しいだけだという人もある。だが一寸まて、よく聴いてみると何か現代の共感を中枢に伝えるなにものかが感じられる。それは何なのだろう。

ジャズは一種の復合民族の音楽である。その母体となったアメリカという国は、各種の人種がより集り、しかも短時日の間に[illegible]く巨大な資本主義的発展をとげ、従ってジャズの内部にはその間を多分に含蔵している。いい換えれば、黒人の郷愁の情に西欧的楽器と、洗練された音楽的教養とがカクテルされ、資本主義の発展とともに幾何学的なメカニズムを持つようになったもので、単なる民族的音楽に留まらず、それを育む社会の進歩とともに進化し、洗練されたものである。

その最も進化し洗練され[illegible]がバップを母体としたモ[illegible]ャズと呼ばれる姿なのであ[illegible]はやここまでくると土臭さ[illegible]技巧に走り過ぎたきらい[illegible]が、測り知れぬ尨大なエネ[illegible]で動かされる巨大な工場の[illegible]寸分のスキもなく緻密に[illegible]れた人工衛星の存する時代[illegible]として、かかる鋭い冷たさ[illegible]ち、甘さを廃した機能的な[illegible]たその価値があるのではな[illegible]か。

ダイナミックな四分音[illegible]せず、八分音譜の運鎖で[illegible]終止譜を使用するモダン[illegible]は極力感情の激化を殺し[illegible]超越した、予想以上のオ[illegible]も離れたジャムプすら試[illegible]してコードを外した不思[illegible]運ね、リズム楽器はレガ[illegible]だけで、ドラムなどはビ[illegible]ざと外してアクセントを[illegible]

評論家牧芳雄氏は「モダ[illegible]ヤズは文学を失って数学[illegible]」といっているが、確かに[illegible]情を殺した機械的な構成[illegible]リの表現だ。これは過去に[illegible]音の制約を打破したもので[illegible]構成は印象主義、表現主[illegible]近代音楽の傾向と一致する[illegible]モダン・ジャズは計算され[illegible]的な音楽ではあるが、イ[illegible]ヴィゼーション（即興）[illegible]する。譜面に頼らぬソロを[illegible]演奏をする場合が多いので[illegible]

モダン・ジャズの最初は[illegible]・トリスターノやジョージ[illegible]リングらのピアノ、ヴァイ[illegible]心にしたコンボ編成のクー[illegible]のであった。ジェリー・マ[illegible]らがテナー・サックスやト[illegible]ットで静かな、同じ強さを[illegible]全体として同調させるよう[illegible]法を採り出して以来、オー[illegible]ラ形態が現われたが、中で[illegible]クス・セクションにおいて[illegible]ゲッツ、ズート・シムスら[illegible]ルトを排し3テナー、1バ[illegible]・システムが特徴的であっ[illegible]たシャリング以来ピアノを[illegible]して発展してきたこの音楽[illegible]リガンはチコ・ハミルトン[illegible]もにピアノを省いた演奏を[illegible]ここにモダン・ジャズは楽[illegible]約なく自由に演奏できるよ[illegible]ったのである。だが一方デ[illegible]ブルーベックのその自由な[illegible]を駆使したピアノ・ソロの[illegible]華麗さはやはりモダン・ジ[illegible]ピアノの必要性を感じさせ[illegible]

（A・K）

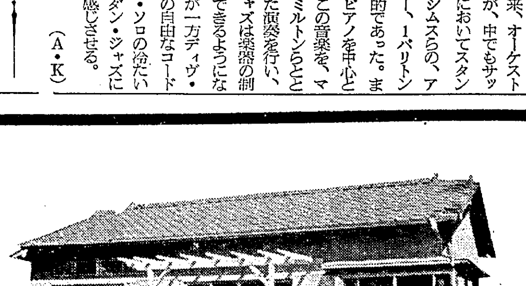
〃投稿歓迎〃

本紙では次号から学校当局に対する注文、苦言、希望などを[illegible]原稿を全学生諸君から募集し掲載することにしました。原稿は四百字詰原稿用紙一枚内外で毎月七日までにお願いします。なお、紙上匿名は認めますが、原稿には学部学年氏名を明記して下さい。

社告

新聞専門印刷所の約二カ月にわたるストライキのため九十七、九十八号の発行が遅れたことをおわびします。

関西大学新報社



便利な月賦で
希望のわが家

予定建築費の三割を積み立てられますと、御希望の間取りですぐ着工し、残金のお支払も最も手軽な太平住宅の月賦です。どうぞ、新築だけでなく増改築にも御利用ください。

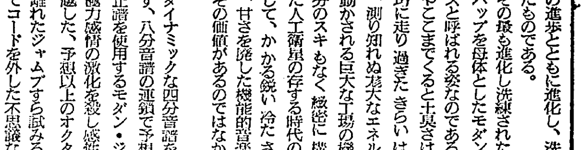
工費50万円12.3坪の一例

公庫住宅手続代行・一般現金建築請負
即時着工の月賦
営業案内無代進呈・日祝無休来社歓迎

京都営業所　京都市中京区四条大宮電停西一丁　電⑧1135〜6
大阪営業所　南区地下鉄心斎橋下車三休橋南詰　電㉔0491〜5
和歌山営業所　和歌山市岡山町九　電⑤6086
神戸営業所　東灘区阪神電鉄魚崎駅前　電⑧3102・4777
岡山営業所　上西川町208駅前電車通り　電④4792〜4
全国営業所　帯広・旭川札幌・青森・仙台・郡山・新潟・松本・群馬・横浜・静岡・金沢・岐阜・名古屋・津・松江・広島・高松・松山・小倉・福岡・熊本・鹿児島

援護資本弐拾億円
家の月賦　太平住宅
取締役社長　中山幸市　大正13年専商卒
本社　東京中央区日本橋本町三丁目電停前　電話 茅場町(66)代表9716

栄養価満点
衛生設備と安価で栄養十分な食事を誇る食堂
御休憩 御食事 は是非皆様の学内食堂へ
天六学舎　佐伯食堂



断然強い！　ダンロップタイヤ

千日前
きつねそば
はつせ
ライス丼
丼物一式
大阪で千日前のはつせと[illegible]頂いて居ります
大劇東側
電話 (64)2267

H.H.H
美しくはずむ
お足もと
サンエッチは…栄養素ラノリンと美しいツヤの膜をつくるスーパーワックスがホコリや水をはじいて革をまもり靴をしんから美しくします
靴クリームは　サンエッチ
光沢に 油性カンス　保革に 乳化性ビンス
サンエッチ株式会社
A-121